



清流

奥州市立若柳中学校 閉校記念誌

奥州市立若柳中学校 閉校記念事業実行委員会

奥州市立若柳中学校
閉校記念誌

清流



若柳中学校校歌

作詞 及川 均
作曲 竹田 伊三郎

一 胆沢平野は東に

ひらけるところ若柳
土橋が丘に相寄れば
あ、風光り雲はとぶ

二 雲を呼びては山脈の

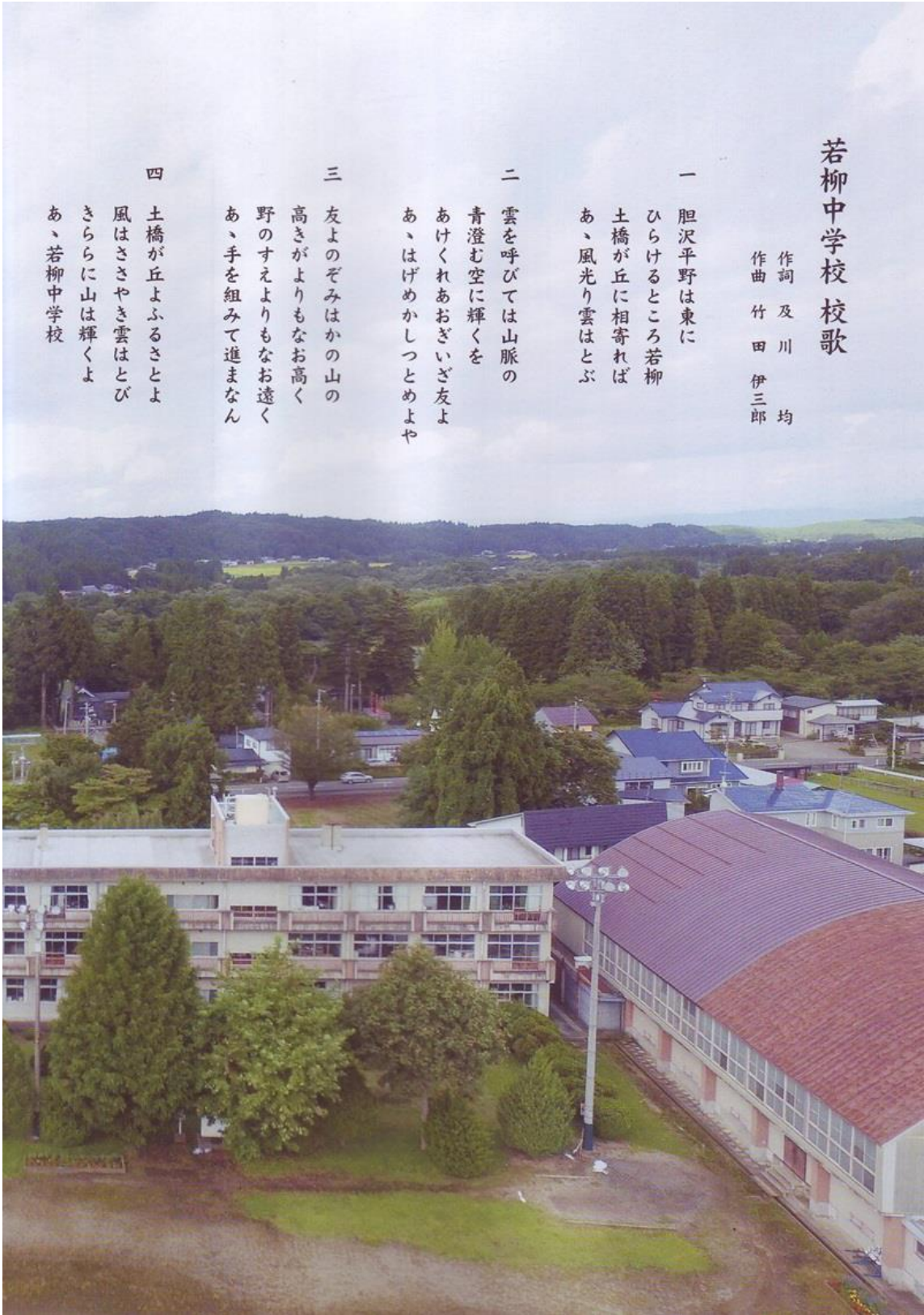
青澄む空に輝くを
あけくれあおぎいざ友よ
あ、はげめかしつとめよや

三 友よのぞみはかの山の

高さがよりもお高く
野のすえよりもなお遠く
あ、手を組みて進まなん

四 土橋が丘よふるさとよ

風はささやき雲はとび
さららに山は輝くよ
あ、若柳中学校



若柳中学校 校歌

いこふへい地ほむんがしに
とよよのすみほかの地すの
とふけるともふかかたなき
たかきがかりるながたかく
のほしあつかりに
あいつつあつかりに
あいつつあつかりに
あいつつあつかりに



若柳中学校 校旗



若柳中学校 校章



若芽を育みながら伸びていく柳（シロヤナギ）を表現している

- ▷昭和25年5月 校章デザイン考案：村上正人教諭
- ▷昭和50年4月 校章デザイン修正：小山仁太郎教諭
- ▷昭和62年6月 校章デザイン修正：柳の芽の○を・に変更
- ▷平成4年8月 由来検証・再デザイン：渡邊安正教頭

若柳中学校 教育目標

健	康	(健康で明るい生徒)
誠	実	(思いやりの心を持つ生徒)
思	考	(よく考えてやりぬく生徒)
自	発	(自ら進んで行動する生徒)

若柳中学校の
風景



体育館



保健室



放送室



技術室



美術室



被服室



家庭科調理室



音楽室



図書室



給食配膳室



コンピュータ室



理科室



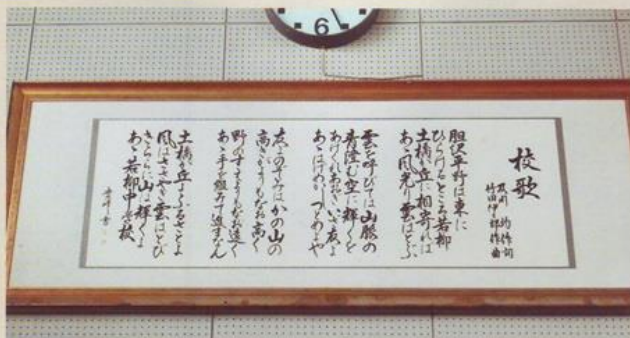
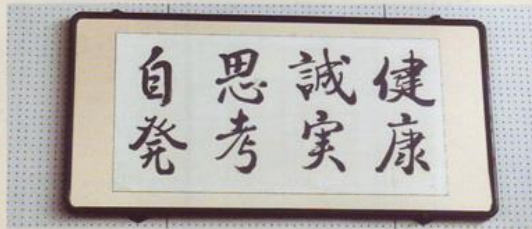
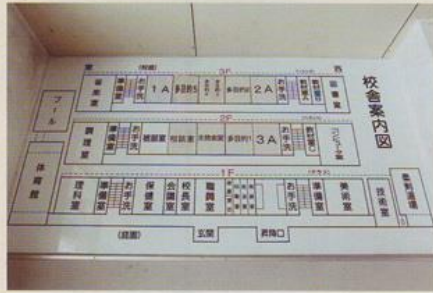
柔剣道場



教育相談室



職員会議室







生徒会 活動方針

1. おいさつの輪が
お広がる若中
2. 美しい歌声が響く
若中
3. 規律ある生活が
てき若中



平成28年度 飛騨会スローガン 伝統～我が誇る最後の若中～

平成28年度 飛騨会スローガン 闘志～70年の戦いに終止符を～

第一応援歌

- 一 清流胆沢のそのほとり
西にそびえる山の気を
心にうけてぞ鍛えたる
意気と熱
- 二 はだえをつんざく霜の朝
吹雪に荒れるその夕べ
練り鍛えたるその技を
今ぞ示せ
- 三 一度立てば三軍も
恐れおののきさえふせん
勝利の栄冠我に有り
振え若中

平成28年度 飛騨会スローガン 素直～永遠に輝く我が思い出～

平成28年度 飛騨会スローガン 満開～感謝の気持ちを38輪の花束へ～

第二応援歌

- 一 西にそびえる焼石の
紅もゆる愛宕原
壮麗夕日に接しつつ
練り鍛えたる若中生
- 二 胆沢の流れ永遠と
清き瀬音のその響き
せいせい意気に励まされ
練り鍛えたる若中生
- 三 向上示す名産と
清き教えるすいせんは
高き理想を仰ぎつつ
練り鍛えたる若中生

平成28年度 飛騨会スローガン 百花繚乱～咲き誇れ29色に彩る思い出～

第三応援歌

- 一 れい峯いまだしろたえの
りようしよう肌にしむるとき
若きわれらますらおの
胸にあふれる血汐みつ
きたえし五尺のあらみたま
熱血勇者は若中生
- 二 えんねつ激しく地をおいて
ほねをもとかすその時に
きたえし意気は天をつき
ねりたる力山を抜く
われらは若中その勇者
鉄石の腕をふるいなん
- 三 れんせい苦斗幾星霜
ねりたる技は確信の
健脚一跳砂を蹴り
疾走一路 風をまく
われらは若中その勇者
勝利の栄冠我にあり

若中讃歌

- 一 秀峰 焼石 胆沢川
天地に眺むる 桜ヶ丘に
我青春の夢 つつむ
その名も懐し 若中に
集いし友は 幾百ぞ
- 二 自然の極み 味わえる
緑ヶ丘の我 松林に
希望に燃えて 育む日
その名も懐し 若中に
若き我友 若き幸
- 三 ああ青春を 若中に
思い出深かき ああ三年
桜ヶ丘よ 永久に咲け
緑ヶ丘の 常盤樹よ
あなつかしの学舎に

若柳中学校 在籍生徒推移

年度	男	女	合計
昭和22年	193	191	384
昭和23年	229	196	425
昭和24年	263	230	493
昭和25年	271	247	518
昭和26年	235	243	478
昭和27年	244	250	494
昭和28年	266	238	504
昭和29年	245	218	463
昭和30年	271	245	516
昭和31年	275	227	502
昭和32年	269	215	484
昭和33年	251	209	460
昭和34年	238	218	456
昭和35年	274	251	525
昭和36年	322	323	645
昭和37年	341	329	670
昭和38年	338	355	693
昭和39年	307	312	619
昭和40年	287	319	606
昭和41年	261	303	564
昭和42年	258	304	562
昭和43年	252	273	525
昭和44年	226	237	463
昭和45年	209	190	399
昭和46年	194	188	382
昭和47年	182	174	356
昭和48年	167	175	342
昭和49年	156	153	309
昭和50年	153	151	304
昭和51年	145	143	288
昭和52年	140	134	274
昭和53年	139	130	269
昭和54年	122	125	247
昭和55年	113	107	220
昭和56年	97	105	202

年度	男	女	合計
昭和57年	100	102	202
昭和58年	86	113	199
昭和59年	92	105	197
昭和60年	90	99	189
昭和61年	106	94	200
昭和62年	114	95	209
昭和63年	121	119	240
平成元年	129	117	246
平成2年	122	125	247
平成3年	125	121	246
平成4年	116	120	236
平成5年	115	118	233
平成6年	102	105	207
平成7年	102	109	211
平成8年	88	105	193
平成9年	88	105	193
平成10年	81	103	184
平成11年	87	97	184
平成12年	86	88	174
平成13年	89	88	177
平成14年	88	90	178
平成15年	90	97	187
平成16年	80	85	165
平成17年	70	80	150
平成18年	62	70	132
平成19年	71	70	141
平成20年	78	58	136
平成21年	72	50	122
平成22年	58	49	107
平成23年	54	50	104
平成24年	47	52	99
平成25年	51	53	104
平成26年	36	55	91
平成27年	44	49	93
平成28年	49	36	85

